

## 令和7年度指定管理者モニタリング評価表

施設名	羽咋市市民活動支援センター	所在地	羽咋市鶴多町亀田17番地
指定管理者	社会福祉法人 羽咋市社会福祉協議会		
住所	羽咋市鶴多町亀田17番地	選定方法	公募
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
指定管理料	10,000千円(令和7年度現計予算額)		
評価担当課	まちづくり課		
年度重点目標	利用者の意見や要望を踏まえ、利用しやすいサービス提供に努め、利用者の増加を図る。		

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考
		中間	年間		
1 職員配置などの実施体制	仕様書・事業計画書どおりの人員配置がなされているか。	A		書類 現地	センター長1人(兼務)、主任1人(兼任)、主事1人(兼任1人)、臨時1人
	事業計画書に則した職員研修が実施されているか。	A		書類	ボランティアコーディネーター研修、地域と大学生・若者が共に輝くコーディネーション研修ほか
	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していないか。(届出済みの業務委託部分は除く)	-		聞き取り	第三者への再委託は行っていない。
2 施設、設備及び備品の維持管理の状況	仕様書等に基づき適正に維持管理業務が実施されているか。	A		聞き取り	適正に実施されている。
	整理整頓・清掃がなされており、植栽等についても美観を損なっていないか。	A		現地	事務室、交流スペースともに清掃、整頓されている。 ※清掃指定曜日:水曜日
	法定保守点検について、点検内容、時期等が法令基準に基づき実施されているか。	-		聞き取り	該当なし。 ※羽咋すこやかセンター管理。
	保守点検において、異常が認められていた場合、また、修繕が必要な箇所が見つかった場合、適切な処置が実施されたか。	-		聞き取り	該当なし。 ※羽咋すこやかセンター管理。
	備品等に過不足がなく、適正に管理されているか。	A		書類	備品台帳に写真付で適正に管理。
3 サービス向上への取組状況 (アンケート調査による意見及び対応は項目9に)	ホームページなどで積極的に情報提供が行われているか。	A		聞き取り 現地	幅広い層に情報が届く様に、HP・FB・LINEなどの多様なツールを活用して同内容の情報を一元的に発信。市公式LINE等でも連携して情報発信している。 ※市の情報発信にも活用している。
	特定の利用者を優遇したり、法令に基づく手続を経ることなく、利用を制限している事例はないか。	A		聞き取り	該当事例なし。
	利用者に対して満足度について調査(アンケート・意見箱の設置等)を行ったか。	-		聞き取り	年明け以降に実施予定
	苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		書類	苦情無し。 ※相談カードで経緯を記録・管理。 ※事業報告で対応記録として記載。
4 防犯・防災対策の取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。避難訓練等は実施されているか。	A		書類	連絡体制を共有。 訓練年2回 7月実施済み。 (11月実施予定)
	リスクに応じた保険等に加入しているか。	A		書類	労務損害保険入。

評価項目	評価する内容の詳細	評価		確認方法	備考	
		中間	年間			
5	個人情報保護の措置状況	個人情報は適正に管理されているか	A		現地	施錠付キャビネットで管理。PCもパスワード入力必要。
6	経理の執行管理状況	団体のその他の事業との区分を明確にし、適正に経理処理が実施されているか。	A		書類	職員費について、他の業務と割合を決めて区分している。
		収支計画書と大きな隔たりはないか。ある場合は、その原因は何か。	A		書類	概ね計画どおり適正である。
		料金等の収入が適正に得られているか。著しい増減がある場合は、その原因は何か。	A		書類	適正である。
7	施設利用状況	施設の利用が十分に行われているか。利用者数、施設稼働率等に著しい増減がある場合は、その原因は何か。	S		書類	新設の交流スペース及びミーティングルームの利便性がよく、安定した活用が行われている。利用件数自体はそれほど増加していないが、利用人数が増加している。
8	市への報告体制の確保	月例報告・実績報告・その他必要な報告が適切に提出されているか。	A		書類	3か月に一度、詳細な定期報告が提出されている。
9	アンケート調査意見及び対応	※下半期にアンケート実施予定				
10	今後、検討・調整が必要な事項	市民提案型まちづくり支援事業について、3年経過後のフォローアップ体制。前年アンケートで要望のあった団体間の交流機会の創出や、報告会の実施について。				
11	今後の管理方針	点訳・音訳ボランティアの白山市との交流や市民活動団体と中学生の交流事業など、新たに対外的な交流や学生と団体などの交流を実施し、参加者から好評を得ており、今後も団体間や高校生などとマッチングを進めていく。 また、かねてからスマホやパソコンの操作についての相談があり、地域団体などでの支援体制構築を支援していく。				
総合評価	中間評価		年間評価		令和6年度	令和5年度
	A				A	A